

原子力リスク研究センター（NRRC） 第6回 技術会議 議事概要

1. 日 時：2015年8月24日（月）14：00～17：00

2. 場 所：電力中央研究所 大手町本部 役員大会議室

3. 出席者（順不同、敬称略）

主査：横尾（NRRC）

委員：河田（北海道電力、楨代理）、滝澤（東北電力、増子代理）、五十嵐・山中（東京電力、川村代理）、名倉・増田・服部（中部電力、鈴木代理）、吉森（北陸電力、高橋代理）、森中・大石・鈴木（関西電力）、沖原（中国電力、岩崎代理）、川西（四国電力）、岡野（九州電力）、石坂（日本原電）、大柿（日本原燃）、静間（電源開発）、野田（東芝）、今野（日立GE）、河野（三菱重工）、倉田（原安進）、示野・座間・酒井・植田・金谷（NRRC）

4. 議事概要（◆産業界委員、◇電中研委員）

(1) 2016年度研究開発計画の方向性について

横尾主査より、2016年度の研究計画案の検討状況全般について説明を行った後、座間・酒井研究コーディネーターより個別 R&D 項目について説明を行った。

（主なコメントは以下の通り）

◆：個別の研究計画を出して頂いている中で、スケジュールが細分化されているものは、どのような成果を目指して研究をしているのかがわかりやすいが、3～4年、大まかに線が引いてあるだけのものもある。実機に適用できる研究成果を確実に生み出していくためには、2年程度でホールドポイントを設けて、そこから先は進捗に合わせて、実施の可否を検討するような仕組みにしないとけない。

◇：ご指摘のようなホールドポイントを設ける方向で対処したい。

◆：現状は、全電力会社が参加する研究が基本となっているが、制度面で PWR 電力または BWR 電力の持ち寄りの研究もできるという仕組みがあったほうがよいと思う。

◇：今後検討したい。

2. NRRC の運営状況について

示野委員より、NRRC の運営状況として、技術諮問委員会（TAC）の活動実績、シンポジウムの準備状況、今後の活動スケジュールなどについて紹介があった。

以 上